

別紙 6

会員になると

- 男女共同参画推進センター
(パレットプラザさの) を拠点として活動
- 男女共同参画に関する情報の収集
- 男女共同参画に関する研修会参加
- 会員の交流による広いネットワーク作り

加入するには

- 団体会員(5名以上)
- 個人会員(お1人で入会できます)

年会費

- 団体(5名~20名まで) 年額 2,000円
- 団体(21名~100名まで) 年額 3,000円
- 団体(101名以上) 年額 4,000円
- 個人 年額 500円



佐野市は「男女共同参画都市宣言」をしています
(2016年)



『ネットワークさの』へのお問い合わせは
佐野市人権・男女共同参画課まで

〒327-0398
佐野市田沼町974-3(田沼行政センター内)

TEL **0283-61-1140**

FAX **0283-61-1142**

MAIL danjokakari@city.sano.lg.jp

男女共同参画 『ネットワークさの』



認める 支える 分かち合う
個性かがやく参画社会

佐野市男女共同参画都市宣言キャッチフレーズ

『ネットワークさの』あゆみ

平成17(2005)年7月8日 設立総会

同年2月28日、1市2町の合併による新佐野市の誕生に伴い、それぞれの地域で活動していた佐野市女性団体連絡協議会(旧佐野市)、パルティンぐためま(旧田沼町)、葛生町女性団体連絡協議会(旧葛生町)により設立準備委員会が発足、設立総会を経て、佐野市男女共同参画『ネットワークさの』が活動をスタートしました。

現在、多様な分野の10数団体と個人会員、合わせて約300名で組織され活動しています。



活動目的

会則から

『ネットワークさの』は、会員相互の理解と協力により、男女共同参画社会の実現をめざす豊かで住みよいまちづくりに努めることを目的としています。



男女共同参画社会の実現を目指し、みんなで一緒に楽しみながら、住みやすい「佐野市」を考えてみませんか？



活動内容

どんなことしてるの？

- 各種研修会、学習会、講演会、交流会の開催
- 地域社会への貢献と情報発信
- 各種団体との連携と情報交換(他市含む)
- 行政への積極的な参画・提言と連携
各種審議会・懇談会への委員派遣、市長との意見交換会等
人権・男女共同参画課をはじめとした市企画講座・イベント開催への協力と参加
- 加入団体の活動促進のサポート
(パレットプラザさの講座の開催等)
- 会員相互の親睦、交流、スキルアップ

どんなことを目指しているの？

- ジェンダー平等を目指します
- SDGsの理念・目標を積極的に取り入れます
- 社会的弱者の声を行政に届けます
- 市民から愛される佐野市のまちづくりを応援します
- 佐野市人権・男女共同参画課と連携をとりながら活動します



とちのみ学園

「人に寄り添い63年、地域と共に、未来のために」
社会福祉法人とちのみ会は、「共生」と「地域支援」を理念に掲げ、すべての人が地域とともに生き、社会参加できる環境を作りながら、地域に開かれた施設をめざし、佐野市を拠点に多様な支援を行っています。
また、栃木県「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」をし、女性活躍を応援しています。

ハーブ森のお茶会

自然由来の効能を持つハーブ文化を大切にしたいと活動を始めました。日本におけるハーブ、しょうが・にんにく・しそ・みょうが・ゆずなどは殺菌や防腐効果として古くから暮らしの中で役立ち、西洋ハーブの芳香は五感全てに新鮮な感動と豊かな生活をもたらします。本会はハーブを通じて美しく心豊かな生活を送る健康づくりの一環として活動をしています。

部落解放同盟佐野市協議会女性部

部落差別解消を始めとして、全ての人が住みよい環境の中で、平等に人権を保障されることを願い、日々活動しています。行政や教職員の方々と討議し、人権教育・啓発に理解を深める「解放学校」、30年続けている大橋保育園児とのさつま芋苗植えと芋掘り、「高齢者サロン事業」、人権講演会の開催、インドとフィリピンへの古着・学用品・資金の提供等を行っています。また、月2回学習会で様々な人権について勉強しております。

朗読「ひびき」

平成18(2006)年栃木県女性の海外研修参加者と男女共同参画に関心のある仲間が結成。DV、セクハラ、パワハラ、障がい者等の問題を分かりやすく伝えるため「朗読劇」で男女共同参画の啓発を講演会の依頼に応じ活動しています。また、差別や人権をテーマに、佐野市出身『小曾根俊子』の詩の朗読をしています。令和2(2020)年度「栃木県男女生き生き地域活動」で優秀賞を受賞しました。

男女共同参画 ネットワークさの

加入団体紹介

2022年5月16日現在

個人会員

今井美砂子 ・ 黒田由利子 ・ 山田 明

アマリリスの会

栃木県家庭教育オピニオンリーダー養成研修修了者で組織し、田沼地区公民館を拠点に、主に子育て支援や家庭教育支援を行っています。子(孫)育て中の方、何かやりたいけど…と迷っている方など、多くの方に参加してもらい、おしゃべりしながら「学ぶ」活動をしています。また、健康や防災など、私たちの学びを多くの方に伝える活動も行います。

くらぶ ハリヨ・サンティ

ネパール山村の教育や生活への支援とともに、日本在住外国人との交流等国際理解を育む活動を行って、創立16年を迎えようとしています。
NGOディーヨ・フォーラムに協力し、教育の機会を得られにくい女子学生への奨学金授与、障がい者自立の支援を目的にしたカレンダー販売等を行っています。

グループ・わっくる

栃木県男女共同参画地域推進員有志で設立し、男女共同参画を推進するための出前講座等を行っています。
市の楽習講師にも登録して活動し、女性や男性、様々な人たちが、性別や年齢、障がい等にかかわらず自分らしく生き生き暮らせる社会を目指して、地域の人たちと一緒に考えていけるよう、クイズやコントによる楽しい講座を工夫しています。

コミュニティケアさの

すべての人の健康と街の繋がり作りを主旨とし、男女共同参画の視点から女性雇用や登用、育児・介護と仕事の両立支援、啓蒙活動なども行なっています。

りあん訪問看護リハビリステーション、まちの(健康)相談室 介護支援相談、在宅医療、精神保健、福祉や介護などを中心に活動する組織です。

特定非営利活動(NPO)法人 CoCoA

法人登記：平成 18 (2006) 年。1 人ひとりが自分らしさを発信することが佐野市全体が輝くことだと信じて『楽しくなければまちづくりじゃない』を合言葉に、ワイワイと活動中です。

CoCoA の名称は、Communication・・・伝達、情報交換
Collaboration・・・協働、協力
Action・・・・・・行動

佐野環境グループ

1990 年設立。SDGs の 12 番目の目標にある「つくる責任つかう責任」にスポットを当て活動しております。フードロスや、少なくする取組や、ごみ減量の為のフリマ参加、古着利用の布ぞうり作り(市クリーン推進課講座協力)新聞バッグ作り等、リユースでも創作の喜びが味わえる、プラスワンの生活に直結する取組をしております。

栃木県女性教育推進連絡協議会佐野支部

女性の地域活動推進セミナー(栃木県女性教育指導者研修)修了者で組織されています。女性教育・地位向上・男女共同参画を目的とし、会員の研修と交流を図り県内では最も会員数が多い支部です。女性が社会で活躍出来る環境を整えるには女性軽視が問題となっている今こそ、男女共同参画を目的とした私たちの団体が声を上げるべきではないかと考えています。

JA 佐野女性会リーダース

健全な食と農を次代に引き継ぐため JA に集結した組織です。次の事業を目的として活動しています。

- ①消費活動に関する事
- ②健康管理に関する事
- ③文化活動に関する事
- ④子どもの保育、教育に関する事
- ⑤農業経営、農家生活に関する事
- ⑥農協の事業推進に関する事
- ⑦その他目的達成に必要な事項

栃木県消費生活リーダー連絡協議会佐野支部

この会は、栃木県消費生活リーダー養成講座修了生や、各種消費者講座の受講生、同等の知識を有すると認められた人で構成された組織です。

公民館やデイサービスに出向き、消費者の啓発高揚に寄与する活動をしています。益々増加するオレオレ詐欺等の消費者トラブルを未然に防ぎ、早期に適切な対応ができるよう、寸劇や紙芝居による啓発活動もその一つです。

JWC さの

平成 28 年「日本女性会議を佐野に誘致する会」としてスタート。決定後は「女性会議さの 2019 を成功する会として歩んできました。しかし、台風 19 号被災により会議は中止。令和 2 年「日本女性会議を通して地域を活性化する会」に目的を変更。男女共同参画社会の実現を目指し、復興支援・防災・教育等、広範囲での市民活動に取り組んでいます。

とちぎつばさの会佐野支部

「すべての人の本質的平等の理念に立って」誰もが分け隔てなく、生きられる社会を目指し、様々な啓発活動を行ってきました。感染対策が重要な現在は、zoom を利用して定例会を継続しています。

各分野で活躍している会員一人一人の知恵を集め、「できることからやってみる。」をテーマに今後も楽しく活動していきたいと思っています。